

Good Times Fly

ANA

ANA VISION 2004

第55期 中間報告書

2004年4月1日～2004年9月30日

北海道・さっぽろホワイトイルミネーション

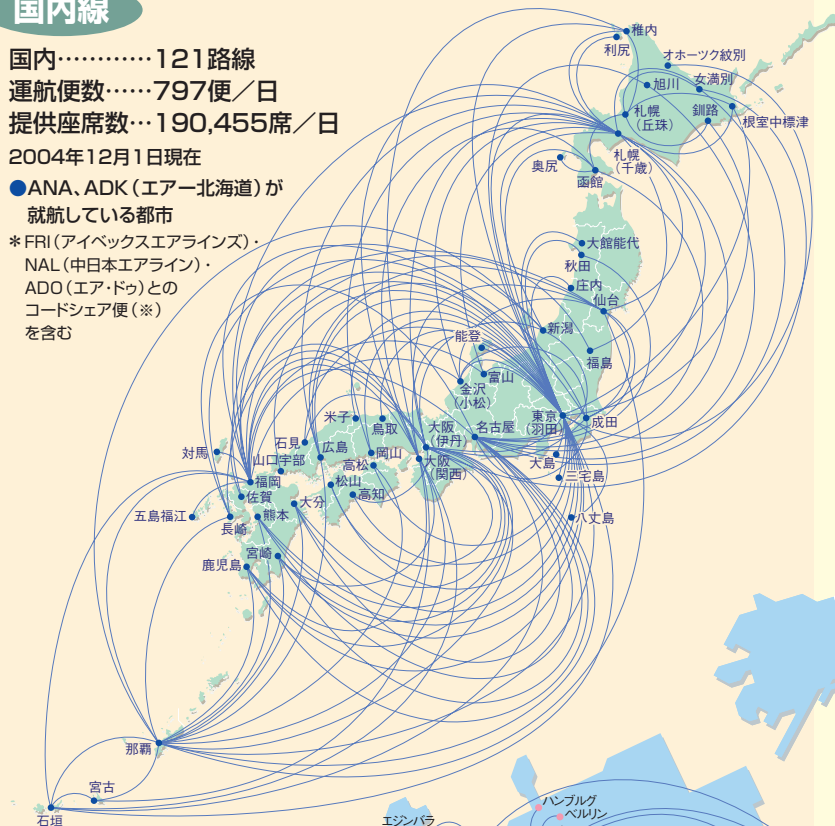
A STAR ALLIANCE MEMBER

国内線

国内……………121路線
運航便数……797便／日
提供座席数…190,455席／日
2004年12月1日現在

●ANA、ADK（エア・北海道）が
就航している都市

*FRI（アイベックスエアラインズ）・
NAL（中日本エアライン）・
ADO（エア・ドゥ）との
コードシェア便（※）
を含む



国際線

コードシェア便（※）を含む
105路線1,443便／週

2004年12月1日現在
グループ運航便:442便／週
他社コードシェア便:1,001便／週

●ANAグループが就航している都市

●コードシェア便が就航している都市

☆AJX（エアージャパン）は成田～ソウル、関西～グアム、
関西～ホノルル線に就航。

☆ANK（エア・ニッポン）は成田～台北線に就航。

（※）コードシェア（路線提携）とは
提携会社の運航する便に自社の便名（コード）を付与す
ることで、より広範で利便性の高い路線ネットワークを
提供するものです。



東京（羽田）～新潟線 臨時便（12月前半）の 運航について

ANAグループは新潟中越地震に関連し、12月
1日（水）～21日（火）の期間、羽田～新潟線の
継続運航を実施しております。22日以降につきま
しては地上交通機関の復旧状況等を勘案した上、
お知らせ致します。

●表紙の写真

『さっぽろホワイトイルミネーション』北の街・札幌、冬の恒例
行事。年末から年始にかけて大通公園の木々をライトア
ップ。色とりどりの電飾と白い雪が相まって幻想的な世界
が広がる。

株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととご拝察申し上げます。また、新潟県中越地震で被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

当中間期における連結業績は、売上高が6,594億円（前年同期比8.4%増）、営業利益は597億円（同313.3%増）、経常利益は531億円（同271.1%増）、中間純利益は298億円（同45.3%増）となりました。

また、当中間期個別業績は、売上高が5,627億円（前年同期比16.9%増）、営業利益は503億円（同465.4%増）、経常利益は443億円（同349.7%増）、中間純利益は230億円（同208.7%増）となりました。

当中間期については景気は回復基調にあるものの、原油価格の高騰や相次ぐ台風による影響など外部環境は必ずしも順風ともいえませんでした。それでもなお当初の目標を上回る業績を達成できましたのは、経営ビジョンで掲げております「外部環境に左右されない安定した事業構造の構築」を目指して取り組んでまいりました成果が着実に収益に現れてきている結果であると考えております。

航空運送事業においては、国内線ではFAM（5ページ『トピックス』参照）の導入による需要動向に適した機材による運航やPROS（5ページ『トピックス』参照）活用によるレベニューマネジメントの強化、Edyやeコマースの充実といった他社との差を打ち出した営業戦略の展開により、当初の計画を上回る増収を達成致しました。また国際線においてはSARS禍に苦しんだ前年に比べ旅客需要が大きく回復する状況のもと、国内線同様PROSの活用等により収益の向上を目指すとともに、伸びが著しい中国路線の増強

等によって前年同期比で大幅な増収となり、貨物事業の好調さもあいまって黒字化の基盤が整いつつあります。結果、全体としても増収増益となりましたが、当社としましては、これに満足することなくさらなる収益の向上を図ってまいります。

さて、この12月1日から羽田新ターミナル（第2旅客ターミナル）がオープン致しました。今回、本誌に特集でリポートさせていただきましたが株主の方々をはじめとする皆様からのご意見、ご指導を参考にさせていただき、“ANA羽田スタイル”と銘打って『人に優しい空港』をテーマにでき得る限りのアメニティを盛り込んだつもりでございます。今後につきましても物、数、量という目に見える形だけでなくフロントラインを中心に『質』を意識して他社を凌ぐサービスを心がけてまいる所存でございます。

明年2月には中部国際空港セントレア、2006年には神戸空港が相次いで開港するなど当社をとりまく事業環境は今後も大きく変化してまいります。引き続き安全の確保を第一に、「株主価値」「クオリティ」「顧客満足」の向上に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



2004年12月

代表取締役社長 大橋 洋治

中間連結財務諸表

ANAグループ（連結）

■当中間期の状況：

当中間期におけるわが国経済は、企業収益や個人消費が改善し、景気回復に向けた着実な歩みを見せ始めました。ANAグループにおいても、主力事業である航空運送事業を中心に積極的な営業活動を行い、連結営業収入は中間期としては過去最高となる6,594億円（前年同期比8.4％増）を計上しました。また、費用面については、原油価格の高騰という不透明な要素を抱える中、引き続き抜本的なコスト構造改革を強力に推し進め財務体質の強化を図りました。その結果、営業収入が511億円の増加に対し営業費用は前年同期とほぼ同水準を維持することができ、営業利益は597億円（前年同期比313.3％増）、経常利益は531億円（同271.1％増）、中間純利益は298億円（同45.3％増）となりました。

■中間連結貸借対照表

（単位 億円）					
	前期 (2004年3月31日現在)	当中間期 (2004年9月30日現在)		前期 (2004年3月31日現在)	当中間期 (2004年9月30日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	4,633	4,607	流動負債	4,416	4,953
固定資産	11,008	11,239	固定負債	9,644	8,961
繰延資産	8	7	負債合計	14,061	13,915
			少数株主持分	89	94
【流動資産】			資本の部		
主に社債の償還や借入金の返済により現預金が減少した結果、流動資産は25億円の減少となりました。			資本金	867	915
【固定資産】			資本剰余金	531	579
減価償却や航空機材の売却等により減少する一方、航空機材等の取得や7E7機に対する前払いにより増加し、固定資産は差し引き231億円の増加となりました。			利益剰余金	88	341
			その他有価証券評価差額金	40	32
			為替換算調整勘定	△ 19	△ 16
			自己株式	△ 7	△ 8
			資本合計	1,500	1,844
資産合計	15,651	15,854	負債、少数株主持分、資本合計	15,651	15,854

【負債の部】
借入金の返済や社債の償還に加え、転換社債の繰上償還を行った結果、合計で145億円の減少となりました。

【資本金および資本剰余金】
資本金および資本剰余金は、転換社債の転換によりそれぞれ48億円の増加となりました。
【利益剰余金】
主に中間純利益298億円の計上による増加と配当金46億円の支払による減少により、利益剰余金は差し引き252億円の増加となりました。

■連結キャッシュ・フロー計算書

（単位 億円）		
	前中間期 (2003年4月1日から 2003年9月30日まで)	当中間期 (2004年4月1日から 2004年9月30日まで)
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	341	972
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 379	△ 605
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	173	△ 530
4. 現金及び現金同等物の換算差額	△ 1	6
5. 現金及び現金同等物の増減額	133	△ 158
6. 現金及び現金同等物の期首残高	1,581	2,345
7. 連結範囲変更に伴う影響額	—	0
8. 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,714	2,186

●連結対象会社の状況

2004年9月30日現在
連結子会社 98社（合併による会社消滅及び会社清算により4社除外）
持分法適用会社 23社（異動なし）

■中間連結損益計算書

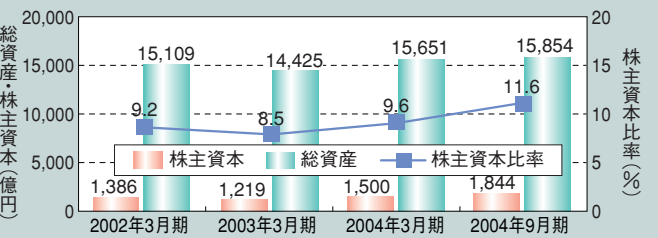
（単位 億円）		
	前中間期 (2003年4月1日から 2003年9月30日まで)	当中間期 (2004年4月1日から 2004年9月30日まで)
営業収入	6,083	6,594
営業費用	5,938	5,997
営業利益	144	597
営業外収益	245	112
営業外費用	247	179
経常利益	143	531
特別利益	78	6
特別損失	10	15
税金等調整前中間純利益	210	522
法人税、住民税及び事業税	31	228
法人税等調整額	△ 28	△ 11
少数株主利益	2	5
中間純利益	205	298

【営業外収益】
機材関連報奨収入の大幅な減少により、前期を下回りました。
【営業外費用】
支払利息や為替など、金融取引に伴う費用が減少しました。

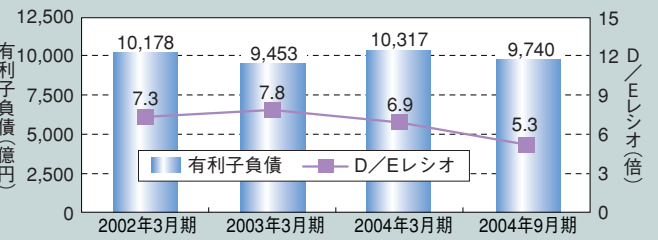
【特別利益】
前中間期において厚生年金基金代行部分返上益60億円を計上していたこと等により、71億円の減少となりました。

次頁セグメント情報をご参照下さい。

●総資産・株主資本推移



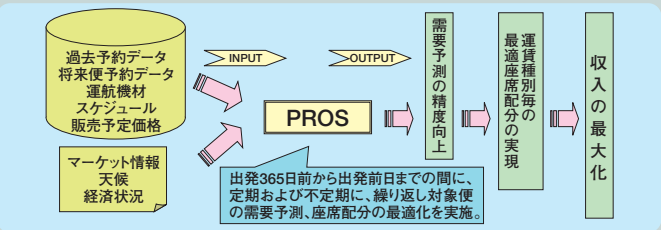
●有利子負債・D／Eレシオ



トピックス

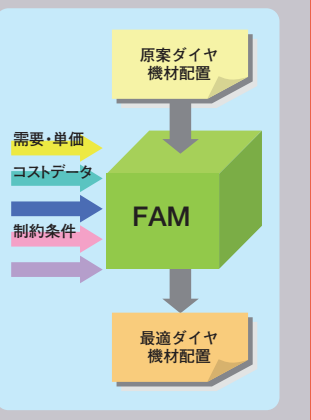
■PROS (Passenger Revenue Optimization System)

PROSとは、どの日にどれくらい搭乗があったのか、という過去の情報と直近の旅客動向をベースに運賃種別ごとの将来需要を予測し、どういう運賃で何席販売すれば収入を最大化できるかを計算するツールです。需要予測は過去2年間のデータを統計的に処理し、またそれを直近の予約動向で補正することで精度向上を図っています。予測の修正をタイムリーに実施することでよりマーケットの変化に対応できるようにしており、座席配分については運賃水準と需要動向に応じた1席当たりの期待収入 (EMSR, Expected Marginal Seat Revenue) を計算し、EMSRの高い順から座席を配分します。例えばこれまでは単純に先着順で予約を受け付けた結果満席となり、搭乗直近に発生する普通運賃需要を逸失することがありました。PROS導入後は普通運賃需要に対応して最後まで席を確保するようになったため、収入単価改善に効果を発揮しています。



■FAM (Fleet Assignment Model)

FAMとは、運航ダイヤ計画を作成する際に、運航便ごとに見込まれる需要、販売単価等を予測分析する一方、機種ごとの運航コストを計算、さらに乗務員の移動、機体整備のスケジュール、発着空港における様々な制約等の諸条件を考慮した上で、収益を極大化できる投入機材を運航便ごとに割り出すツールです。需要、収入予測だけでなく運航コストをインプットできるため、収入と費用の両面から収支改善を図れるところが大きな特徴です。また、乗務員のアサインや空港制約等の諸条件を満たさなくてはならない投入機材組替えは膨大なシミュレーションとなり従来、人手では不可能でしたがこのシステムの導入により最適な組替えが行えるようになりました。FAMは既に欧米で実績を有しており、当社ではそのノウハウをベースとしてつわが国の国内線の実情に適した仕様を独自に開発し、当期より本格稼働させました。



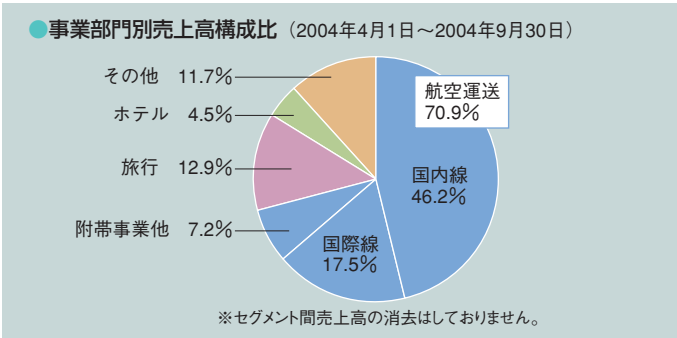
中間連結財務諸表

ANAグループ(連結)

■事業別セグメント情報 (単位 億円)			
		前中間期 (2003年4月1日から 2003年9月30日まで)	当中間期 (2004年4月1日から 2004年9月30日まで)
航空運送事業	国内線	3,465	3,560
	国際線	1,087	1,347
	附帯事業他	428	557
	営業収入計	4,981	5,465
	営業費用	4,862	4,923
	営業利益又は損失(△)	118	541
旅行事業	営業収入	840	992
	営業費用	831	964
	営業利益又は損失(△)	9	28
ホテル事業	営業収入	339	344
	営業費用	345	351
	営業利益又は損失(△)	△ 5	△ 6
その他の事業	商事・物販	590	622
	情報通信	93	110
	その他	183	172
	営業収入計	867	906
	営業費用	849	874
	営業利益又は損失(△)	17	31

営業収入計	7,029	7,708
セグメント間消去	△ 946	△ 1,113
連結営業収入	6,083	6,594
営業費用計	6,889	7,114
セグメント間消去	△ 950	△ 1,116
連結営業費用	5,938	5,997
連結営業利益	144	597

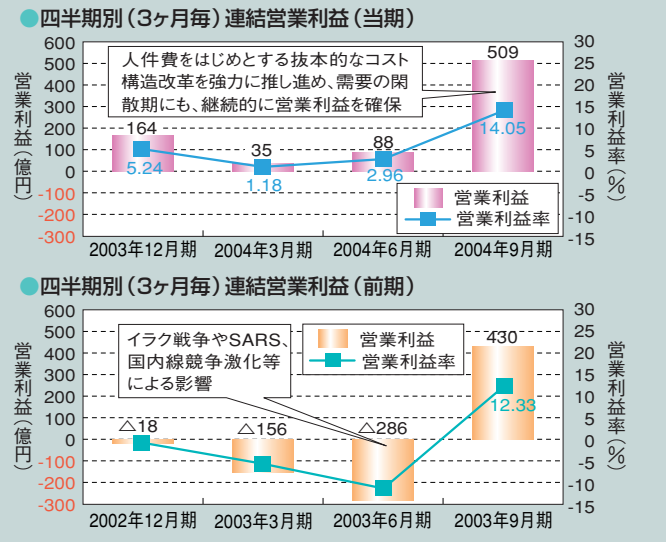
海外旅行需要の回復を受け、商事・物販部門が増収増益となったのをはじめ、セグメント全体としても増収増益となりました。



営業収入
【国内線旅客】 第2四半期に相次ぐ台風の影響を受けたものの、旅客需要はビジネス、旅行ともに持ち直しの傾向がみられ、PROS※1導入による収入単価の改善もあり、前年同期比83億円の増収となりました。またFAM※2により需要に見合う機材での運航を進めた結果、利用率も前年同期比2.1%アップしました。
【国際線旅客】 前年同期がSARSやイラク戦争の影響で需要が落ち込んでいたため前年同期比で旅客数は136%と大きく伸びました。特に欧米路線はビジネス・旅行需要とも好調に推移しました。全体で収入は前年同期比244億円の増収となりました。
【国内線貨物・郵便】 国内貨物は景況感の回復に伴い、需要は旺盛に推移、東京～佐賀間の深夜貨物便の運航開始等もあって前中間期比18億円の増収となりました。郵便は取り扱い量が増加しましたが単価が下落して減収となりました。
【国際線貨物・郵便】 国際貨物は北米向けIT関連の品目や中国向けの自動車部品などを中心に堅調に推移し、取扱量、収入ともに前年同期比で増加しました。また、国際郵便は北米、中国線などを中心に取り扱いが減少し、減収となりました。
【営業費用】 抜本的なコスト構造改革による費用削減を実施し、営業収入増加に伴う営業費用の増加を最小限に抑えました。その結果、営業利益は前年同期比423億円の増加となりました。
PROS※1、FAM※2:5ページ「トピックス」参照

国内旅行は引き続き好調に推移しました。また、海外旅行についても、イラク戦争やSARSによる深刻な需要減退から回復し、国内・国際とも増収増益となりました。

沖縄地区のホテルは堅調な需要に支えられ高稼働を維持しました。しかし、都市圏のホテルを中心とした宴会部門の低迷や、一部のホテルにおいてリニューアル工事に伴う売り止めがあったことなどにより、依然として状況は厳しく、営業赤字となりました。



航空運送事業の売上高

		事業年度	前中間期 2003年4月1日から 2003年9月30日まで	当中間期 2004年4月1日から 2004年9月30日まで	増 減
航空運送事業	国内線	旅客収入	3,291	3,375	83
		貨物収入	125	143	18
		郵便収入	47	40	△ 7
		手荷物収入	1	1	0
		小 計	3,465	3,560	94
		旅 客 収 入	859	1,104	244
	国際線	貨 物 収 入	209	226	17
		郵 便 収 入	15	13	△ 1
		手 荷 物 収 入	3	2	0
		小 計	1,087	1,347	259
	航空事業収入合計		4,553	4,908	354
	そ の 他 の 収 入		428	557	129
	合 計		4,981	5,465	483

(注) 各収入は事業区分(セグメント)間の売上高を含んでおります。

中間単体財務諸表

ANA(単体)

■中間貸借対照表 (単位 億円)		
	前期 (2004年3月31日現在)	当中間期 (2004年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	3,878	3,719
固定資産	9,270	9,491
繰延資産	2	1
資産合計	13,150	13,212
負債の部		
流動負債	3,525	3,776
固定負債	8,088	7,626
負債合計	11,613	11,403
資本の部		
資本金	867	915
資本剰余金	531	579
利益剰余金	102	287
その他有価証券評価差額金	38	30
自己株式	△ 2	△ 3
資本合計	1,537	1,809
負債・資本合計	13,150	13,212

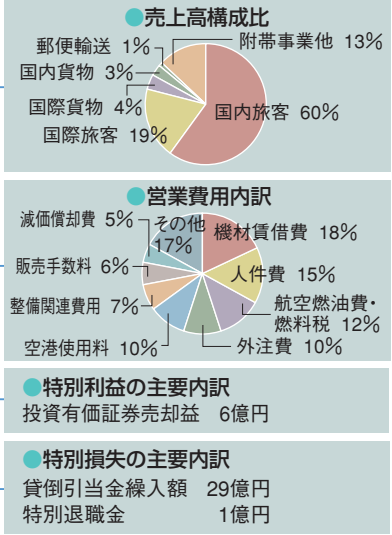
輸送実績

		事業年度	前中間期 2003年4月1日から 2003年9月30日まで	当中間期 2004年4月1日から 2004年9月30日まで	前年同期比 (%)
国内線	旅 客 数 (万 人)		2,286	2,255	98.7
	座 席 キ ロ (千万席キロ)※1		3,249	3,095	95.3
	旅 客 キ ロ (千万人キロ)※2		1,983	1,954	98.5
	利 用 率 (%)※3		61.0	63.2	2.1
	貨物輸送重量(千トン)		197	206	104.7
	貨 物 輸 送 量 (百万トンキロ)		190	200	105.2
	郵便輸送重量(千トン)		35	40	115.0
国際線	郵便輸送量(百万トンキロ)		37	43	114.3
	旅 客 数 (万 人)		148	202	136.6
	座 席 キ ロ (千万席キロ)※1		1,214	1,261	103.8
	旅 客 キ ロ (千万人キロ)※2		790	966	122.2
	利 用 率 (%)※3		65.1	76.6	11.5
	貨物輸送重量(千トン)		107	117	109.5
	貨 物 輸 送 量 (百万トンキロ)		505	535	105.9
	郵便輸送重量(千トン)		6	6	101.8
	郵便輸送量(百万トンキロ)		30	28	95.7

(注) 1. 座席キロ:(座席数)×(運航キロメートル)
2. 旅客キロ:(旅客数)×(運航キロメートル)
3. 利用率:(旅客キロ)÷(座席キロ)
4. 国内線=ANA+エアーニッポン(株)+エアー北海道(株)+(株)エアーニッポンネットワーク
5. 国際線=ANA+エアーニッポン(株)+(株)エアージャパン
6. 国内線・国際線ともにチャーター便を除いております。
7. 国内線深夜貨物定期便実績を含みます。

■中間損益計算書

	前中間期 (2003年4月1日から 2003年9月30日まで)	当中間期 (2004年4月1日から 2004年9月30日まで)
営業収入	4,813	5,627
営業費用	4,724	5,123
営業利益	89	503
営業外収益	218	88
営業外費用	209	149
経常利益	98	443
特別利益	67	6
特別損失	22	31
税引前中間純利益	143	418
法人税、住民税及び事業税	8	198
法人税等調整額	60	△ 10
中間純利益	74	230
前期繰越利益又は損失(△)	△ 103	56
利益準備金取崩高	103	—
中間未処分利益	74	287



“ANA 羽田スタイル” 新・羽田ターミナルオープン!

新たなANAグループの挑戦

2004年12月1日。国内線の一大拠点、羽田空港に新旅客ターミナルビルが誕生しました。ここから新しいANAが飛び立ちます。そこに込めた想いは安全性を第一に、お客様最優先の利便性、快適性、機能性のさらなる追求です。東京空港支店長の高橋篤郎執行役員に新しくなった施設、ANAについて聞きました。

Interview



高橋 篤郎(たかはし あつろう)

●Profile

1974年4月ANA入社。営業本部東京支店、整備本部等を経て2001年4月勤務部長。2004年4月より執行役員東京空港支店長、羽田地区グループ統括を務める。

お客様中心の快適性と利便性を重視

Q 首都圏空の表玄関、羽田空港にANA専用の新ターミナルビルが誕生しました。まずはそのロケーションと建物の簡単な概要を教えてください。

高橋 新ターミナルビルは今までの第1旅客ターミナルと首都高速湾岸道路をはさんだ反対側、東京湾に面しています。そのオーシャン・ビューというロケーションを活かし、旅客ビル自体も海をモチーフにした開放感あふれる美しいデザインでまとめられています。



Q 従来のターミナルビルとはどんな点が異なっているのでしょうか?

高橋 新しいコンセプトに基づいてつくられた新しいターミナルであり、ANAグループがほぼ占有するターミナルとなりました。この結果、お

客様の満足度で第1位を目指す当社の最新のサービスコンセプトが随所に取り入れられております。新しいターミナルビルはお客様に『簡単・便利』に、『スムーズ・ストレスのない移動』で航空機をご利用いただける『人に優しい空港』をテーマにつくられております。たとえば、降機に時間がかかり、いろいろな経験をお持ちの方もおられると思います。このような場合の降機時間を短縮するため、一部のゲートですが、機体の左右両側から降機いただけるようにしました。また、おからだの不自由なお客様でも安心してご利用いただけるよう、車椅子のまま利用できる、160cm幅の動く歩道や、搭乗口までの歩行移動に不安な高齢のお客様などに国内の空港では初めて電動カート(トライアル運用)をご用意。もちろん、セキュリティ面でもご搭乗と降機されるお客様との動線を完全に分離するなど、細心の配慮もされております。

Q 「人に優しい」コンセプトが随所に盛り込まれていますね。

高橋 施設だけでなくスタッフに「人に優しい」ハートがなければ意味がありません。当社のスタッフは手話を身につけたり、空港での急病人に対応するために応急手当の基礎知識を学ぶ、あるいはおからだの不自由なお客様をサポートする介助関連の資格を取るなど、『ANA羽田スタイル』の名称とともに、「人に優しい」ANAマインドをお客様へのサービスに生かそうと努力しております。

飛行機への乗降が便利に、スマートに 安全性を一段と高めた

出発・到着を完全分離した専用通路

出発のお客様は2階出発コンコースから機内へ。到着のお客様は機内から1.5階到着コンコースへ。別々のスロープで動線を完全に分離して安全性も一段と向上。また、出発ゲートラウンジはランプサイド側が全面ガラスの明るい空間。一方の到着コンコースはガラスの回廊で、夜間は約800mにもおよぶ光のチューブに…。印象的な景観が楽しめます。

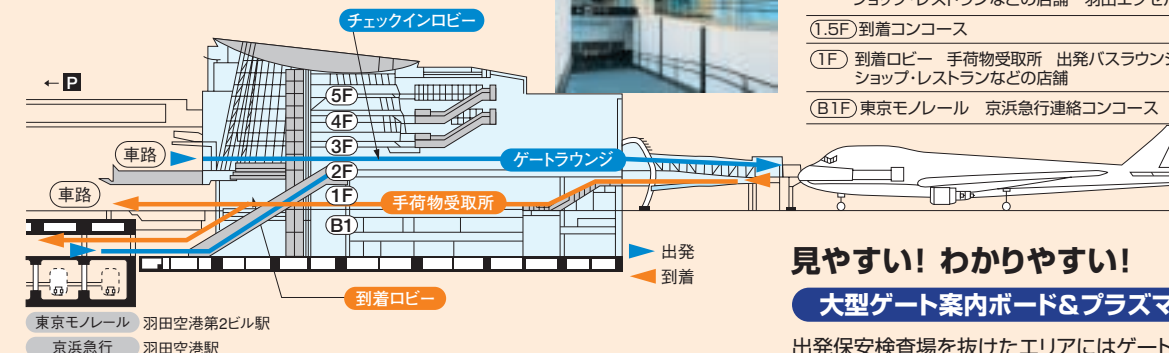
出発



1.5F到着コンコース



到着



混雑時の降機もスムーズに! 日本初のライトサイドPBB(パッセンジャー ボーディング ブリッジ)を採用。

これまでは左側扉のみで行われていた降機を左右両方の扉で行うことが可能になりました。



※ライトサイドPBBは、ご利用便の状況により実施されない場合がございます。

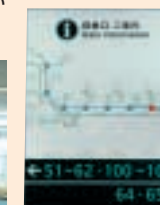
Q ところで、以前の第1ターミナルビルで使用していたスペースに比べてかなり広がっていますね。

高橋 確かに以前にくらべスペースにはだいぶ余裕ができました。

見やすい! わかりやすい!

大型ゲート案内ボード&プラズマディスプレイ

出発保安検査場を抜けたエリアにはゲート案内ボードを設置。フライトスケジュールやご搭乗案内など、お役に立つ情報をわかりやすく表示します。また大型プラズマディスプレイをターミナル内のいたるところに設置。「いつでも、どこでも、見やすく、わかりやすく」フライト情報が提供されます。

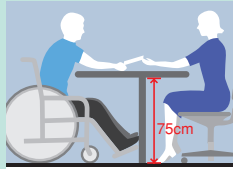


しかし、お客様から「広い空港は迷いやすい」とお叱りを受けないよう新ターミナルではお客様の空港ご到着からご搭乗まで「最短コースで」「わかりやすく」ご案内できるよう最大限、工夫をしております。

お手伝いが必要なお客様を強力サポート!

らくのりカウンター

おからだの不自由な方、ご年配の方など、お手伝いが必要な方のために「らくのり」カウンターを設置。カウンターは、通常よりも低いタイプ(75cm)を採用し、車椅子のお客様にもご利用いただきやすくなっています。



ゆとりの160cm動く歩道



通常よりも広い幅幅を確保した動く歩道、「ムービングサイドウォーク」。ゆとりの160cmタイプにより、車椅子のお客様にもターミナル内をご不便なく移動していただけます。

電動カート

遠い搭乗口までの歩行移動に不安なご高齢のお客様などにご利用いただく、電動カートをご用意しました。12月1日からはトライアル運用として2ヶ所の出発保安検査場に1台ずつ配置します。



バリアフリー

車椅子のお客様にもご利用いただきやすいように多目的トイレを増設。電動車椅子が2台並んでご利用いただける大型エレベーターの設置など「ご利用いただくお客様へのやさしさ」を最優先に考えました。



Q 館内のインフォメーションはどのようになっていますか?

高橋 チェックイン後、航空機に乗り遅れる原因の約30%は搭乗ゲート間違いという統計を教訓として、ビル内に約150台の大型プラズマディスプレイ(50~63インチ)を設置し、リアルタイムな情報を提供します。最新のゲート、出発時刻だけでなく、目的地の天候、さらにお帰りの空席状況まであらゆる情報をお伝えし、お年寄りからお子様まで、「わかりやすく」「ストレスなく」航空機にお乗りいただけるよう心がけたつもりです。



大型ディスプレイでご提供するコンテンツも、今後さらに魅力あるソフトを盛り込み、出発前のひとときを楽しんでいただける工夫をしています。

Q 大空港だけに混雑時のセキュリティ・チェックがとても負担でしたが、

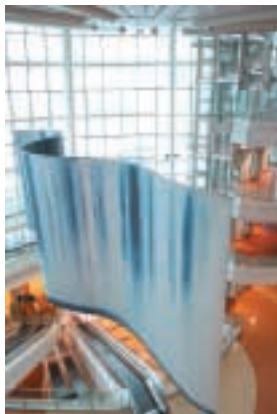
高橋 確かにお客様のストレス原因の大きな割合を占めるものは手荷物のお預かり時と、X線のセキュリティ・チェックです。新ターミナルビルでは、手荷物はお預かりした後ベルトコンベアで搬送中にセキュリティ・チェックするシステムを導入し、お預かりに要する時間、手間ともに大きく軽減されることになりました。また出発保安検査場のX線の機器も第1ターミナルビルより6基多い24基を設置。さらに多頻



機内持ち込み制限品搬送のエアシューター

度利用のお客様や『スーパーシートプレミアム』ご利用のお客様のために専用レーンもご用意致しましたので、以前にも増してスムーズな流れになるものと思います。

※注: 予約センターまたはインターネットにてクレジットカードでお支払いされた方は、航空券受け取りの際、お支払い時のクレジットカードを自動チェックイン機に挿入する必要があります。

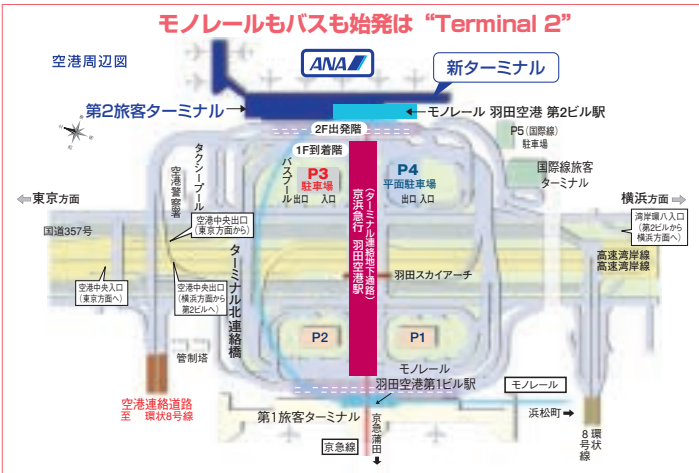


千住 博氏作 中央吹抜け空間オブジェ「滝のオーロラ」

“ANAらしさ”を前面に!

チェックインカウンター

視認性を高め、いちだんとわかりやすくなったカウンターサインは、機能に優しさをプラス。ANAのサービスをより身近に感じていただけるよう、ロビー各所に係員を配置し、お客様のご要望にすばやくお応えします。



対応店舗が急拡大!

ますます便利になる“ANA Edy”

小銭不要のすっきりキャッシュレス。Edy(電子マネー)対応の店舗が一気に広がりました。ANA FESTA、ASK(物販)、スカイエンジェル(飲食)、東京食賓館、ソニーブラザ羽田空港店、ザ・ギンザ羽田空港店、南国酒家、沼津魚がし鮨、東京ラーメン天、アーツカフェ&ブラッセリー、羽田エクセルホテル東急など、50店舗以上でご利用いただけます。



※200円のお支払いごとに1マイル。貯まったマイルをEdyに交換。10,000マイルが10,000円分のEdyになります

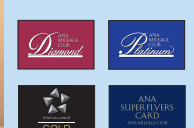
国内最大規模のスペースをご用意

最上のおもてなしは“signet”で...

出発ロビー内2ヶ所設置のラウンジは、従来のスペースを大幅に拡張。広い窓からは東京湾を一望。AVコーナーから足裏マッサージのリラックスエリアなど、お客様それぞれに思いのままの時間をお過ごしいただけます。



※ご利用いただけるお客様
AMC「ダイヤモンドサービス」「プラチナサービス」「ANAスーパーフライヤーズカード」会員ならびに「スターアライアンス ゴールド」メンバーのお客様。なおAMC「ブロンズサービス」会員の方は1,000マイルにてご利用いただけます。



簡単・便利を加速するANAのスマートEサービスがスタート!

簡単、スピーディー!

自動チェックイン機、航空券自動発売機を多数配置。飛行機のご利用がますます快適に、便利になります。

自動チェックイン機



航空券自動発売機

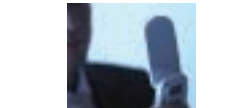


空港到着前



旅行会社やインターネットなどでチケットを事前購入(決済)されたすべての方にご搭乗日当日、パソコンや携帯電話からチェックイン。空港ではチェックイン済みチケットを受け取るのみです。

空港到着後



ご搭乗便の運航状況などについて、指定の携帯電話にメール配信。空港到着前に情報をキャッチ。フライト前の安心が広がります。



スマートEチェックインを済ませれば、iモードFelicaなどの携帯電話やIC付のANAマイレージクラブカードなどの利用で画面操作なしにチケットが受け取れます。※注



マイレージの登録から貯まったマイルの確認、Edyへの交換まで、端末1台でOK。また到着地の情報やクーポンなどを携帯メールやクーポン券として受け取れます。

情報ダイジェスト

9月

『スーパーシート プレミアム』発表 (9/8)

2004年12月1日の羽田空港第2ターミナル移転を契機に、同日から『スーパーシート プレミアム』サービスを開始。今までのスーパーシートをグレードアップし、国内最上級にふさわしい上質感を追求したシートを順次導入。旬の素材をふんだんに取り入れた、お食事サービスや地方の隠れた名店の選びぬかれた茶菓をご提供。また機内のサービスだけでなく、羽田空港第2ターミナルでは専用の保安検査場を3ヶ所設置してご出発をより「スムーズ」に!



10月

『赤い羽根』特別塗装機が就航 (10/1~)

『平成16年度 赤い羽根 共同募金』の募金運動に今年も協力。シンボルマークの『赤い羽根』を描いた特別塗装機を運航(ボーイング767型機 6機とボーイング737型機 4機)。12月末までの募金期間中、延べ約6,000便が飛びまわり、共同募金をアピール。ANAグループの行動方針「社会と共に歩み続けます」に則った社会貢献活動の一環として昨年より実施、今年で2回目。



中部国際(セントレア)～鳥取・米子線の開設を発表 (10/5)

中部国際空港(セントレア)開港(2005年2月17日予定)にあわせ、中部国際空港から鳥取・米子線を開設予定。運航便数は、鳥取線が1往復/日、米子線が2往復/日、機材はフォッカー50(50席/56席)もしくはDHC-8-400(74席)が就航予定。



ANA北京国際マラソンを開催 (10/17)

ANAでは中国での認知度の高揚をはかるため、中国北京市で開催される『北京国際マラソン』(主催:中国陸上競技連盟)の2007年度第27回大会までの4年にわたり、冠スポンサーを務めることを決定。これにともない10月17日に行われた同大会は『2004 ANA北京国際マラソン』の名称で開催。



本邦初! 機内でのライブ放送サービス実現へ! (10/20)

ANAとモバイル放送は、2005年下期から国内線のインフライトエンターテインメントとして、モバイル放送サービス導入に合意。放送波を新型のデジタル衛星放送経由で受信、日本で初めて機内でのニュースやスポーツ番組、多彩な音楽番組などをリアルタイムで視聴可能に!

B767貨物専用機、中部国際空港から中国へ就航を発表 (10/26)

中部国際空港開港を契機に、成田空港と中国諸都市間に就航中のボーイング767貨物専用機による貨物便を中部国際空港に寄港させ、天津・上海へ就航する計画が10月26日、国土交通省から認可。それまでの成田・関空経由とくらべ、大幅に輸送時間を短縮。



世界初! 路線バスでもマイルが貯まる!

宮崎交通と業務提携を発表 (10/26)

宮崎就航50周年を機に、宮崎交通と提携し、宮交バスカとANAマイレージクラブ、Edyカードが一体となった記念カードを12月1日から発行。この1枚だけで、バスへの乗車、飛行機への搭乗、ショッピングが可能となり、それぞれの場面でマイルも貯まる便利なカードに。

中日本エアラインがANAグループの新しい翼に! (10/29)

11月1日付、中日本エアラインサービス(NAL)への出資比率を増やし、ANAグループの連結子会社とすることを決定。今後NALは、中部国際空港(セントレア)開港時に『エアセントラル株式会社(Air Central Co., Ltd.)』に改め、ANA便名での運航(運送の共同引受)を予定。中部国際空港を基点に国際線に接続するローカル線のネットワークを広げ、利便性の向上を目指す。



11月

『スターアライアンス サークルアジア運賃』を設定 (11/1~)

スターアライアンスのネットワークを利用して、日本発着のアジア・オーストラリア・ニュージーランド周遊旅行がリーズナブルに楽しめる『スターアライアンス サークルアジア運賃』の発売を開始! たとえば、『東京→ソウル→バンコク→シンガポール→シドニー→オークランド(ニュージーランド)→東京』の場合、エコノミークラスだと240,000円(普通運賃の約53%引)と周遊旅行がたいへん“お得”に!



*1 利用可能航空会社:ANA、アジアナ航空、ニュージーランド航空、シンガポール航空、タイ国際航空、ユナイテッド航空、ルフトハンザ航空、オーストリア航空(合計8社)
*2 旅行可能国:オーストラリア/ブルネイ/中国(香港含む)/カンボジア/インドネシア/日本/韓国/ラオス/マレーシア/ミャンマー/ニュージーランド/フィリピン/シンガポール/台湾/タイ/ベトナム(合計16ヶ国)

アジア初! 機内インターネット接続サービスを開始 (11/15~)

成田～上海線にB777-300ER型機を導入し、アジアの航空会社では初の機内インターネット接続サービスを開始。持ち込みのノートPCで機内から地上へEメール送受信やインターネットの接続が可能に。2005年からは欧米路線を中心に順次拡大の予定。

2005年冬の北海道キャンペーンを展開

(キャンペーン期間12/1~3/31)

“スヌーピー”をメインキャラクターに『ANA's WINTER RESORTS & SKI 北海道』キャンペーンを展開。1982年の開始から23年目を迎えた今年のテーマは『冬の北海道における魅力の新発見・提案』。“ステイを楽しみ”“アクティブを楽しみ”“観光を楽しむ”という3つのテーマにこだわった、冬の魅力満載のリゾートステイをご提案。



会社概要 (2004年9月30日現在)

商号 全日本空輸株式会社
All Nippon Airways Co., Ltd.
設立 1952年12月
本社所在地 東京都港区東新橋一丁目5番2号
資本金 915億7,629万1,993円
従業員数 12,155名

役員 (2004年9月30日現在)

取締役会長	野村 吉三郎	
代表取締役社長	大橋 洋治	
代表取締役副社長 執行役員	山元 峯生	
	戸矢 博道	
	大前 傑	
専務取締役 執行役員	高田 正彦	
常務取締役 執行役員	北林 克比古	
	中野 雅男	
	久保 小七郎	
	伊東 信一郎	
	浜田 健一郎	
取締役 執行役員	長瀬 眞	
	日出間 公敬	
取締役	岡田 圭介	
	上山 善紀※	
	木村 操※	
監査役	久宝 互(常勤)	梶田 邦孝(常勤)※
	小野 紘一郎(常勤)	松尾 新吾※
上席執行役員	小松 勇	野本 明典
	本坊 憲吉	
執行役員	小柳 秀夫	大西 準次
	四十物 実	菊池 克頼
	牧 信介	伊藤 博行
	森本 光雄	山内 純子
	鈴木 徹	米里 文明
	藤井 博行	日高 誠一郎
	岩中 俊博	浅川 修
	高橋 篤郎	篠辺 修

※取締役のうち上山善紀および木村 操の両氏は商法188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役です。

※監査役のうち梶田 邦孝および松尾 新吾の両氏は「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役です。

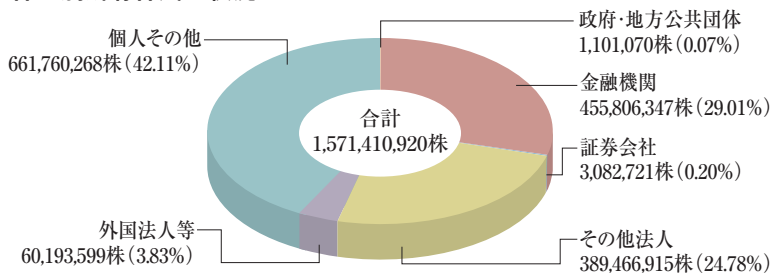
株式の状況 (2004年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数 22億320万株
発行済株式総数 15億7,141万920株 (前期末比3,183万4,859株増)
株主数 212,853名 (前年度末比1,371名増)

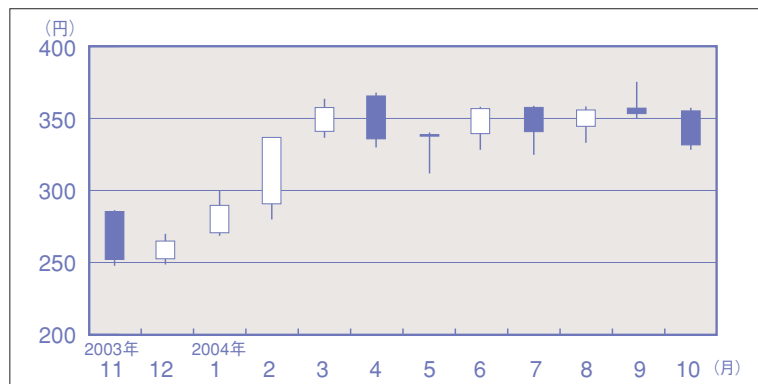
大株主

株主名	所有株式数	持株比率
名古屋鉄道株式会社	71,498千株	4.55%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	52,556千株	3.34%
三井住友海上火災保険株式会社	34,567千株	2.20%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	33,730千株	2.15%
日本生命保険相互会社	30,717千株	1.95%
全日空社員持株会	29,130千株	1.85%
東京海上火災保険株式会社	27,997千株	1.78%
株式会社朝日新聞社	24,376千株	1.55%
ニッセイ同和損害保険株式会社	23,011千株	1.46%
株式会社三井住友銀行	21,882千株	1.39%

株主別所有株式の状況



株価の推移 (2003年11月～2004年10月)



スーパーシートプレミアム誕生！

2004年12月、日本の空が変わります。
優雅に、悠々と、ANAのスーパーシート
プレミアムで国内最上級の空の旅を
お楽しみ下さい。



12月1日より、ANAスーパーシートプレミアムが
誕生致しました。株主の皆様には、
株主優待券・株主特別優待券で、
「スーパーシートプレミアム
株主優待割引運賃」にて
ご利用いただけます。



＜スーパーシートプレミアム株主優待割引運賃表＞

- 表示運賃は片道1枚あたり（消費税込）
- 「航空保険特別料金」1名1区間片道300円が別途必要となります。

路 線		通常期		ピーク期	
		《12/1～12/16・1/11～3/10》	小児運賃	《12/17～1/10・3/11～3/31》	小児運賃
東 京	札 幌	19,000	(12,000)	20,000	(12,500)
	函 館	18,250	(11,650)	19,250	(12,150)
	富 山	14,250	(9,650)	15,250	(10,150)
	小 松	14,250	(9,650)	15,250	(10,150)
	大 阪	14,250	(9,650)	15,250	(10,150)
	岡 山	17,750	(11,400)	18,750	(11,900)
	広 島	18,000	(11,500)	19,000	(12,000)
	松 山	18,500	(11,750)	19,500	(12,250)
	福 岡	20,500	(12,750)	21,500	(13,250)
	熊 本	20,500	(12,750)	21,500	(13,250)
	長 崎	21,500	(13,250)	22,500	(13,750)
	宮 崎	20,500	(12,750)	21,500	(13,250)
大 阪	鹿児島	21,500	(13,250)	22,500	(13,750)
	沖 縄	22,250	(13,650)	23,250	(14,150)
	札 幌	22,500	(13,750)	23,500	(14,250)
	福 岡	14,000	(9,500)	15,000	(10,000)
福 岡	沖 縄	19,250	(12,150)	20,250	(12,650)
	大 阪	24,500	(14,750)	25,500	(15,250)
福 岡	札 幌	27,000	(16,000)	28,000	(16,500)
	沖 縄	16,250	(10,650)	17,250	(11,150)

※運賃は予告なしに変更する場合がございます。4月1日以降は別途予約センターにお問い合わせ下さい。
新シートは順次導入してまいります。従来のスーパーシート設置機材でのご利用となる便も
ございますのであらかじめご了承下さい。使用機種はお断りなしに変更する場合がございます
のでご了承下さい。

※2005年1月11日ご搭乗より、運賃が改定となりますのでご注意ください。

ANAの株主優待サービス

(2004年12月1日現在)

ANA国内線ご搭乗優待

1,000株以上ご所有の株主の皆様には、ANAの国内営業全路線でご利用
いただける「**株主優待券**」と「**株主特別優待券**」を発行致します。

優待券1枚で片道1区間がご搭乗時片道運賃(小児の場合は小児運賃)
より50%割引でご利用いただけます。但し、スーパーシートご利用の際は、
スーパーシートプレミアム株主優待割引運賃が適用になります。

株主優待券 (50%割引)

▶ 優待券発行基準日 3月31日 (5月下旬発送)

▶ 優待券発行枚数

ご所有株式数	発行枚数
1,000株～4,000株	1,000株につき1枚
4,001株～10,000株	4枚十超過分2,000株毎に1枚
10,001株～1,000,000株	7枚十超過分4,000株毎に1枚
1,000,001株～	254枚十超過分8,000株毎に1枚

※但し1枚未満の端数は切り捨て
(例) 1,000株ご所有の場合→ 1枚発行 5,000株ご所有の場合→ 4枚発行
20,000株ご所有の場合→ 9枚発行

▶ 優待券の有効期間 6月1日から翌年5月31日まで (1年間)

※有効期間内はいつでもご利用いただけます。

株主特別優待券 (50%割引)

▶ 優待券発行基準日 9月30日 (11月下旬発送)

▶ 優待券発行枚数 「株主優待券」に同じ

▶ 優待券の有効期間 12月1日から翌年5月31日まで (半年間)

※有効期間内はいつでもご利用いただけます。

ご利用上のご注意

- 国内線航空券片道1区間につき、お一人様本券1枚が必要となります。
- 株主様ご自身はもちろんのこと、株主様以外の方でもご利用いただけます。
- 本券と当社所定のその他の割引とは重ねてご利用いただけません。
- エアー北海道便 (ADK)・アイベックスエアラインズ便 (FRI)・中日本エアライン便 (NAL) はご利用いただけません。但しANA便名のコードシェアについてはご利用いただけます。
- インターネットからご予約いただく場合には「普通運賃」(スーパーシートご利用の場合は「スーパーシートプレミアム運賃」)でご予約下さい。
※ チケットレスサービスはご利用いただけません。
- 本券ご利用の際は、ANA国内発券カウンターまたはANA取扱旅行代理店等で航空券をご購入いただけます。なお、一部ご利用いただけない店舗がございます。
- 季節運航・休止等により、ご利用いただけない場合がございます。
- 本券をご利用になって航空券をお求めの際、航空券自動発売機はご利用いただけません。
- 本券の有効期間内に航空券をお求めになれば、航空券の有効期間内のご搭乗が可能です。但し、航空券面額とご搭乗便の適用運賃に差額がある場合は、ご搭乗に際し、差額調整が必要となります。
- 本券をご利用になって航空券をお求めの後、ご搭乗をとりやめ払戻しをされる際、本券の有効期間内の場合は、「優待証未使用証明書」をお渡し致します。本券の有効期間内は「優待証未使用証明書」をご提出いただくことにより、再利用いただけます。
- 本券の有効期間経過後はご利用いただけません。
- 本券は再発行致しません。

(注) 基準日 新規に株式をご購入される方は、発行基準日(3月31日・9月30日)の
5営業日前までに証券会社にてご購入手続きをお済ませ下さい。
次回(2005年5月発行分)は、**2005年3月25日(金)**が権利付最終日となります。

ANAグループ各社ご優待

3月末または9月末で1,000株以上ご所有の株主の皆様には、ANAグルー
プ各社でご利用いただける「ANAグループ優待券」をお一人様1冊発行
致します。

ANA HOTELSのご優待

ANA HOTELS (国内) でのご宿泊、ご飲食、およびご婚礼、会議・一般ご宴会などの
催しにご利用いただけます。(但し優待割引がご利用いただけないホテルも一部ございます)

◆ご宿泊ご優待 (30%割引 3枚)

優待券1枚で1室何泊でもご利用いただけます。ご予約の際は優待券ご利用の旨お申
し出下さい。(注1) 釧路・函館・松山は20%割引(松山全日空ホテルのアネックス館は15%割引)(注2) 適用対象外
(万代) 4/29～5/4、(京都) 12/31～1/2、(ゲートタワー) 12/22～12/25、12/31～1/1、(松山) 12/31～1/2

◆日曜・祝日ご宿泊ご優待 (50%割引 3枚)

優待券1枚で下記指定ホテルの日曜・祝日のご宿泊1泊1室を50%割引でご利用いた
だけます。ご予約の際は優待券ご利用の旨お申し出下さい。(注1) 指定ホテル：釧路、
千歳、万代、富山、東京、ストリングス、大阪、ゲートタワー、広島、宇都、米子、博多、ハウステンボ
ス、ニュースカイ(注2) 適用対象外：12/23、1/1、1/9、3/20、4/29、5/1、5/3、5/4 (上
記に加えて、東京、ゲートタワー、ニュースカイは1/2、千歳、博多は2/11が適用対象外となります。)

◆**期間限定** 成田全日空ホテル リニューアルオープン記念ご宿泊ご優待 (50%割引 2枚)
優待券1枚で1室何泊でもご利用いただけます。ご予約の際は優待券ご利用の旨お申
し出下さい。(注) 適用対象外：12/31～1/2

◆**期間限定** ストリングスホテル東京 開業1周年記念ご宿泊ご優待 (40%割引 2枚)
優待券1枚で1室何泊でもご利用いただけます。ご予約の際は優待券ご利用の旨お申
し出下さい。(注) 適用対象外：12/24、25、31

◆レストラン・バーでのご飲食時のご優待 (10%割引 5枚)

優待券1枚で1回のご精算時にご利用いただけます。
ご注文の際は優待券ご利用の旨お申し出下さい。
(注)但し函館・名古屋・高松・松山・大分・ラグナガーデンは5%割引とさせて
いただきます。またホテルにより割引対象外となる施設・商品がございます。

◆ご婚礼のご優待 (1枚)

ご利用いただくホテルによりご優待内容が異なります。詳しくは各ホテルにお問い合
わせ下さい。(注)但し稚内・釧路・函館・ストリングス・沖縄ロイヤルビュー・久米島イブピーチではご利用いただけません。

◆会議・一般ご宴会室料ご優待 (10%割引 3枚)

優待券1枚で下記指定ホテルの会議室料・一般ご宴会室料が10%割引でご利用い
ただけます。一部のプラン等でお使いいただけない場合がございます。
(注) 指定ホテル：万代、東京、ストリングス、名古屋、大阪、広島、博多、沖縄ハーバービュー

国内・海外旅行パッケージツアー

「ANASKAYホリデー」・「ANAハロートゥアー」商品のご優待

通常旅行代金の7%割引でご利用いただけます。(7%割引 各2枚)
(注1) 代理店での申し込みにはご利用いただけません。(注2) ANASKAYホリデー商品の内、旅めい
く、おトクホテルプラン、オプションプラン、一部商品は除きます。(注3) ANAハロートゥアー商品の内、
一部商品は除きます。

空港・ホテル内売店でのお買い物ご優待

国内33空港のANA FESTA (全日空商事エアポートショップ)・ANA HOUSE (全日空
商事デューティーフリー直営免税店)・ANAホテル内売店「トリトングート」、および国内
5空港のエアーニッポン商事直営売店にて1,000円以上お買い上げの際にご利用い
ただけます。(10%割引 5枚)(注) 但し、書籍類・酒類・乳製品・煙草・その他一部の商品、ならび
に一部の店舗 (ANA FESTA内スターバックスコーピー店)を除きます。また、免税店につきましても一部
お取り扱いのできない商品があります。お買い上げの際ご確認ください。

通信販売カタログでのご優待

ANA機内通信販売カタログANASKY SHOPをはじめ、全日空商事
の通信販売カタログでご購入の際にご利用いただけます。
(7%割引 5枚)(但し機内販売にはご利用いただけません)

国内線 ANA国内線ご予約・ご案内

0120-029-222 24時間受付年中無休Vナビ

〈有料〉0570-029-222 (携帯電話の場合)

東京 ☎03-3490-8800 大阪 ☎06-6534-8800

札幌 ☎011-726-8800 名古屋 ☎052-962-6211

福岡 ☎092-752-8800 沖縄(那覇) ☎098-861-8800

22:00～6:30および電話が込み合っている場合はVナビ(音声自動応答システム)でご案内致します。

おからだの不自由なお客様のためのご相談窓口

ANAスカイアシストデスク ☎0120-029-377 9:00～17:00 年中無休

FAX 0120-029-366

サービスについてのご意見・ご要望窓口

ANACustomerデスク ☎0120-029-787 9:00～17:00 土日祝休 (12/29～1/3休)

国際線 ANA国際線ご予約・ご案内

0120-029-333 平日 土日祝 8:00～19:00 9:00～17:00 年中無休

〈有料〉0570-029-333 (携帯電話の場合)

ANA HOTELSのご予約・ご案内

ANA HOTELS予約センター (国内) 平日 土 9:00～17:30 9:00～17:00 日祝休 (12/30～1/3休)

ANAハロートゥアーのご予約・ご案内

ANAハロートゥアー 株主優待デスク ☎0120-747-860 9:30～18:30 9:30～17:30 (12/30～1/3休)

☎03-6251-8644 平日 土日祝 9:30～18:30 9:30～17:30 (12/30～1/3休)

ハローお出かけダイヤル ☎0570-025860 市内通話料金だけでご利用いただけます。 18:30～17:30 (12/30～1/3休)

☎03-6251-8688

ANASKAYホリデーのご予約・ご案内

ANASKAYホリデー予約センター 東京 ☎03-6251-8600 大阪 ☎06-6375-8600

名古屋 ☎052-972-8600 札幌 ☎011-222-8600

広島 ☎082-511-8600 仙台 ☎022-263-8600

沖縄(那覇) ☎098-862-8600 福岡 ☎092-720-8600

※地区により営業時間は異なります。

通信販売のお申し込み・お問い合わせ

全日空商事 ANASKYSHOPコールセンター ☎0120-283-029 9:00～19:00 9:00～17:00 (12/30～1/3休)

ANAインターネットホームページ

ANASKYWEB 国内線、国際線のご予約、運航案内、発着案内、ANAから
www.ana.co.jp のおすすめ情報、キャンペーン&イベント情報などを掲載。

投資家情報をホームページからご覧いただけます

ANASKYWEB

↓

投資家情報
www.ana.co.jp/ir

株主優待のご案内、各種手
続きのご案内、決算公告、株
式/財務データ・レポート、IR
イベントをはじめ、株主の皆
様にお送りしている株主総
会招集通知や決議通知もこ
ちらからご覧いただけます。

株主メモ

- 決算期日毎年3月31日
- 定時株主総会毎年4月1日から3ヶ月以内に開催
- 基準日定時株主総会権利行使確定日 3月31日
利益配当金受領確定日 3月31日
※中間配当金制度は採用しておりません。
株主優待券割当確定日 毎年3月31日及び9月30日
- 1単元の株式の数.....1,000株
- 名義書換代理人住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱所.....東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社証券代行部
- 郵便物送付先.....〒183-8701東京都府中市日鋼町1番10
- 電話照会先(通話料無料)・・・[住所変更等用紙のご請求] ☎ 0120-175-417 (24時間自動音声対応) 12/30 17:00～1/3 24:00休
[その他のご照会] ☎ 0120-176-417 (平日9:00～17:00) 12/31～1/3休
※お届印の変更、名義書換、配当金など、その他株式に関するお問い合わせも、
上記の[その他のご照会]住友信託銀行株式会社証券代行部にご連絡下さい。
- ホームページ <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
- 同取次所.....住友信託銀行株式会社本店及び各支店
- 名義書換手数料.....無料
- 公告の方法.....日本経済新聞に掲載
ただし、商法特例法第16条第3項に定める貸借対照表および損益計算書に係る情報は
<<http://www.ana.co.jp/ir>>に掲載しております。
- 証券コード.....9202

株主インフォメーション

今後の株主様への送付物のご案内

- 第55期第3四半期報告書(2004年10月1日～2004年12月31日):9月末現在の全株主様に3月初旬頃に発送予定です。
- 株主優待券:2005年3月末1,000株以上ご所有の株主様に2005年5月下旬に発送予定です。
- 単元未満株式買増請求:2005年3月15日～2005年3月31日については受付停止期間となっておりますので、ご注意ください。
お手続きの詳細は、弊社ホームページに掲載しておりますので是非ご利用下さい。
投資家情報 (<http://www.ana.co.jp/ir>) -各種手続きのご案内●単元未満株式

上記送付物は株主様のご登録ご住所に発送致します。お引越しや住居表示(町名や番地など)が変更された場合にはお手続きが必要となりますので上記住友信託銀行株式会社証券代行部までご連絡下さい。お手続きの用紙をお送り致します。ご連絡をいただきますと、優待券などの大切な送付物が届けできなくなりますのでお早めにお手続き下さい。
尚、証券保管振替制度をご利用の場合は、住所変更・買取・買増請求ともにご預託の証券会社へお申し出下さい。

全日本空輸株式会社

〒105-7133 東京都港区東新橋一丁目5番2号

総務部 株式担当 ☎ 03-6735-1001 (受付時間 平日9:00～12:00/13:00～17:25 ※但し金曜日は17:20迄/土・日・祝・12/29～1/3休)

ホームページ <http://www.ana.co.jp/>



R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています